教科名:公民

【 3学年 政治・経済 】 ルーブリック評価表

観点	内容のまとまり	評価規準	評価基準			評価方法
			A	В	С	
知識・技能	(1) 現代日本の政治	現代の諸課題を捉え考察	現代の諸課題を捉え考察し、選	現代の諸課題を捉え考察し、選	現代の諸課題を捉え考察し,	定期考査
	(2) 現代日本の経済	し、選択・判断するための	択・判断するための手掛かりと	択・判断するための手掛かりと	選択・判断するための手掛か	発問・発表
	(3) 現代日本における諸	手掛かりとなる概念や理論	なる概念や理論について深く理	なる概念や理論について理解し	りとなる概念や理論について	課題等
	課題の研究	について理解するととも	解している。	ている。	理解していない。	
	(4) 現代の国際政治	に、諸資料から、社会の在	諸資料からを社会の在り方に関	諸資料から、社会の在り方に関	諸資料から、社会の在り方に	
	(5) 現代の国際経済	り方に関わる情報を適切か	わる情報を適切かつ効果的に調	わる情報を適切かつ効果的に調	関わる情報を適切かつ効果的	
	(6) 現代の国際経済	つ効果的に調べまとめる技	べまとめる技能を十分に身に付	べまとめる技能を	に調べまとめる技能を身に付	
	(7) 国際社会の諸課題の	能を身に付けるようにす	けている。	身に付けている。	けていない。	
	研究	る。				
思考・判断・表現	(1) 現代日本の政治	現実社会の諸課題の解決に	現実社会の諸課題の解決に向け	現実社会の諸課題の解決に向け	現実社会の諸課題の解決に向	定期考査
	(2) 現代日本の経済	向けて、選択・判断の手掛	て、選択・判断の手掛かりとな	て、選択・判断の手掛かりとな	けて、選択・判断の手掛かり	レポート
	(3) 現代日本における諸	かりとなる考え方や公共的	る考え方や公共的な空間におけ	る考え方や公共的な空間におけ	となる考え方や公共的な空間	発表・発問
	課題の研究	な空間における基本的原理	る基本的原理を活用して、事実	る基本的原理を活用して, 事実	における基本的原理を活用し	課題等
	(4) 現代の国際政治	を活用して、事実を基に多	を基に多面的・多角的に考察し	を基に多面的・多角的に考察し	て、事実を基に多面的・多角	
	(5) 現代の国際経済	面的・多角的に考察し公正	公正に十分に判断できる。	公正に判断できる。	的に考察し公正に判断できな	
	(6) 現代の国際経済	に判断する力や, 合意形成	合意形成や社会参画を視野に入	合意形成や社会参画を視野に入	\(\sigma^{\infty} \)	
	(7) 国際社会の諸課題の	や社会参画を視野に入れな	れながら構想したことを議論す	れながら構想したことを議論す	合意形成や社会参画を視野に	
	研究	がら構想したことを議論す	る力を十分に身につけている。	る力を身につけている。	入れながら構想したことを議	
		る力を養う。			論する力を身についていな	
					\gamma^{\circ}	
主体的に学習に	(1) 現代日本の政治	現代の諸課題を主体的に解	現代の諸課題を主体的に解決し	現代の諸課題を主体的に解決し	現代の諸課題を主体的に解決	授業への取り組み
取り組む態度	(2) 現代日本の経済	決しようとする態度を養う	ようとする態度を養うとともに,	ようとする態度を養うとともに,	しようとする態度を養うとと	提出物
	(3) 現代日本における諸	とともに, 多面的・多角的	多面的・多角的な考察や深い理解	多面的・多角的な考察や深い理解	もに,多面的・多角的な考察や	発表・発問
	課題の研究	な考察や深い理解を通して	を通して涵養される,現代社会に	を通して涵養される,現代社会に	深い理解を通して涵養される,	
	(4) 現代の国際政治	涵養される,現代社会に生	生きる人間としての在り方生き	生きる人間としての在り方生き	現代社会に生きる人間として	
	(5) 現代の国際経済	きる人間としての在り方生	方についての自覚や、公共的な空	方についての自覚や、公共的な空	の在り方生き方についての自	
	(6) 現代の国際経済	き方についての自覚や、公	間に生き国民主権を担う公民と	間に生き国民主権を担う公民と	覚や,公共的な空間に生き国民	
	(7) 国際社会の諸課題の	共的な空間に生き国民主権	しての態度を十分に身につけて	しての態度を身につけている。	主権を担う公民としての態度	
	研究	を担う公民としての自覚を	いる。		を身につけていない。	
		深める				